

1月12日(日)

空について言周べよう!

虹色のさい雲は
とにかくキレイ!

雲の中でもとくに美しいのが、虹色の**彩雲**です。ずい雲、けい雲、景雲ともよばれていて古くから良いことの起る前ぶれとされており、かこには元号でけい雲(704〜708年)や袖護景(767〜770年)などと使われたほどです。さい雲はめずらしいと思われがちですが、季節や場所を問わず出会えます。太陽の近くにいわし雲やひつじ雲、わた雲がある時に、雲の中水のつぶで光が虹色に分けられさい雲が発生します。ふつう雲のながの水のつぶは大きさがバラバラなので、ハロやアークとちがって虹色がふてきろくにならびます。上空の風が強くてレンズじょうになったいわし雲やひつじ雲では、



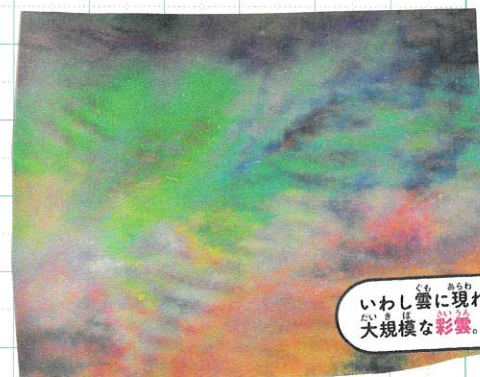
1月12日(日)

水のつぶの大きさがそろいやすいため、まるで天女の羽衣のような大きばなさい雲ができることがあります。

じっさいに見てみよう!



眺めていると、どんどん色が変わっていく。



いわし雲に現れた、大規模な**彩雲**。



わた雲のふちが虹色の**彩雲**に!

建物などで太陽を隠すと、肉眼でも虹色がはっきり見える。



夕方でもちょっと暖かい色の**彩雲**。



写真を使ってわかりやすくまとめられたね!

空について分かりました!